

平成29年度

特別養護老人ホーム事業報告

(期間:平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月末)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献 の視点	地域交流の充実	外部講師を招いて開催	講演会開催	年1回	開催できず	外部講師を招いての講演会の開催は費用面のこともあり見送る。講演活動については、3月5日に相生市主催の生活支援サポーター養成講座に講師として参加した。8月5日の野瀬の夏祭りには、会場設営のお手伝いとアイスクリームを無償提供し、協力した。また、野瀬地区の地域清掃については、6月11日と10月8日に参加した。
		地域へ出向いて、講演活動を開催	講師派遣回数	年2回	1回	
		野瀬夏祭りへの協力参加・餅つき大会開催	イベント開催数	年2回	2回	
		地域清掃への参加			2回	
収支 の視点	稼働率の向上	退去や入院時のベッドコントロールを効率よく行う。	特養・SSの稼働率	特養：98.0% SS：100%	特養:96.8% SS:105.1%	特養の稼働率は退所者の増加や入院者の増加もあり、目標値に届かなかった。(退所者は19名と前年より、4名増加し、入院者も前年より4名増加となった。)各種加算については、毎月会議にて数値を発表することで目標達成に向けての意識も高まり、取得率向上に繋がった。栄養マネジメント加算についてもその影響をうけて、目標値に到達できなかったが、前年と比較すると一定の成果は得られた。生産性向上を目指した業務改善については、目標を達成できなかった。勤務体系の見直しや、専門職の配置人数など、今後も検討し改善を進めていく必要がある。事業費は、5%削減できた。
	各加算取得率維持と向上	毎月末に必ず算定要件を満たしているか確認する。	日常生活継続支援加算	認知症日常生活自立度Ⅲ以上を前月12か月平均65%以上確保	82.4%(3月末時点)	
		毎月末必ず加算取得者を報告する。	栄養マネジメント加算	取得率：98%以上	95.7%(3月末時点)	
		毎月末必ず加算取得者を報告する。	個別機能訓練加算	取得率：98%以上	100%(3月末時点)	
	人件費率の管理	生産性の向上を目指した業務改善を図る。	人件費率	人件費率：60% (現状63%)		
	事業費用の削減	おやつ費や食材費の見直しや光熱水費の節約により、無駄を省く。	事業費の削減率	削減率5%（前年比）	5%削減達成	
利用者・家族 の視点	家族交流勉強会の実施開催	施設における看取り介護について（囑託主治医に講演を依頼）	開催件数	年3回	開催	5月21日に主治医の平田Dr.と協力歯科医の大川Dr.に、ご家族やCMを対象として「施設における看取り介護について」の勉強会を開催した。多くの方々に参加いただけた。リスクマネジメントの勉強会については、他の行事もありスケジュール的に開催が難しかったため、次年度以降に開催予定。
		施設におけるリスクマネジメント（事故報告・感染予防）			開催できず	
		施設周囲のクリーン作戦実施			実施できた	
業務プロセス の視点	業務効率の向上	業務内容と人員配置の見直しを図る。	退社時間の遵守/人員配置の見直し	退社時間	あまり変化なし	介護職員の退職により、結果として専門職種のものも応援に入らざるを得ない現状もあり、抜本的に人員配置を見直すことができなかった。3月に新たに特殊浴槽を導入し、特殊浴槽の使用率をあげ、今後介護の負担軽減に少しでも繋がればと思う。各委員会については、年間目標をたて、定期開催できている。
	職員負担の少ない職場作り	新しい福祉用具の導入やメンテナンスを実施する。	導入実績		3月に特殊浴槽導入	
	委員会活動の充実	年間目標を立て、達成に向けて活動実績を報告する。	活動実績	1回/1～2か月	実施できた	
学習と成長 の視点	新入職者研修計画と現任職員研修計画の作成	研修資料の作成、実施	新入職者研修の開催件数	2～3回/年	3回開催	新任職員研修、中途採用者研修を開催した。また現任職員に対しての研修も開催しているが、開催時間が18時以降になることもあり参加率は良くない。今後、開催方法について検討が必要である。職員の個人面談については比較的多く実施することができた。
		現任必須研修を中心に開催	現任研修の開催件数	12回/年	13回開催	
	想いを話せる職場づくり	年3回の職員の個人面談を実施	面談回数	1人3回/年	1人2～3回実施	